

No.	Remarks	date

温室効果ガス削減のための基本方針

京セラグループの温室効果ガス削減目標 (1.5°C水準)

京セラグループの長期環境目標は次のとおりです。

※ SBT (Science Based Targets) の認定を取得



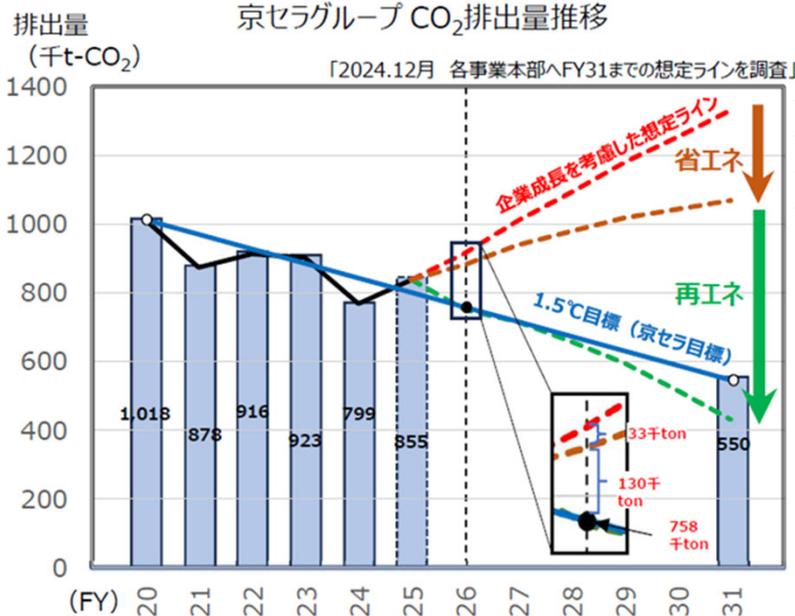
- ・ 温室効果ガス排出量 (Scope1,2※1) 排出削減目標(1.5°C水準)
→2030年度46%削減 (2019年度比) 【SBT認定】
- ・ 温室効果ガス排出量 (Scope1,2※1,3※2) 排出削減目標(1.5°C水準)
→2030年度46%削減 (2019年度比) 【SBT認定】
- ・ 再生可能エネルギー導入量：2030年度20倍 (2013年度比)
- ・ カーボンニュートラル：2050年度達成

※1.Scope1：燃料使用に伴う直接排出

Scope2：外部から購入する電力や熱の使用に伴う間接排出

※2.Scope3：Scope1,2以外の間接排出

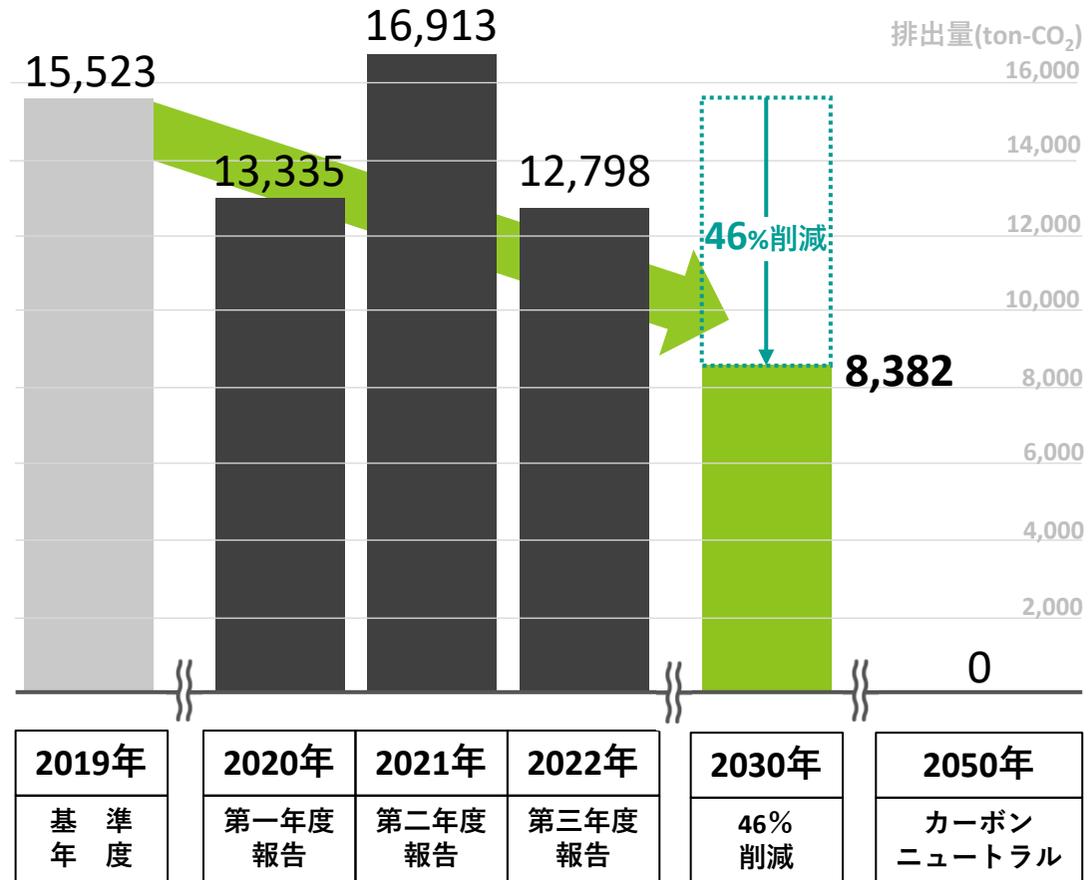
(原料調達、輸送、使用、廃棄、従業員の通勤、出張など)



長野岡谷工場の温室効果ガス削減目標 (1.5°C水準)

長野岡谷工場 温室効果ガス削減目標

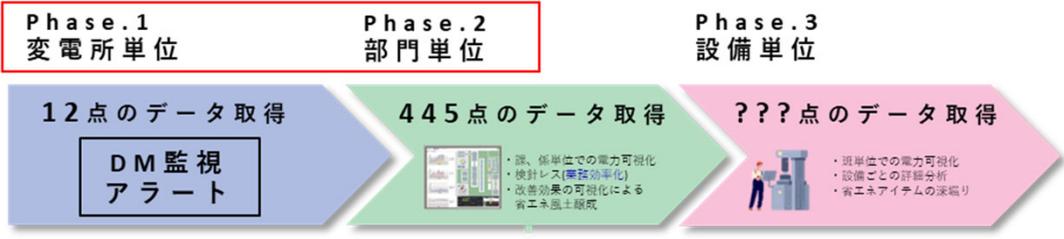
【2030年目標】
温室効果ガス排出量
46%削減



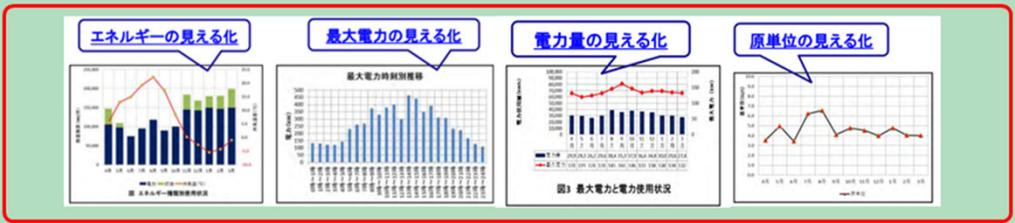
具体的な取組み内容

－ FEMSを活用したスマートファクトリー化

構築済み

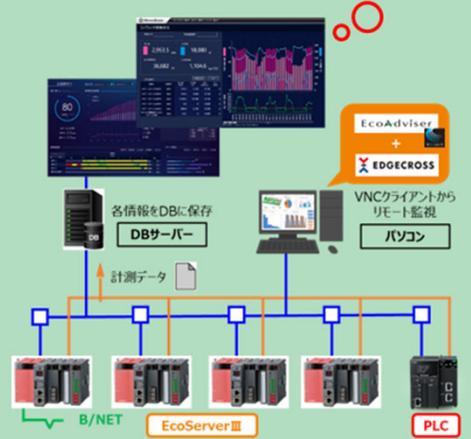


定型作業の自動化、状態可視化



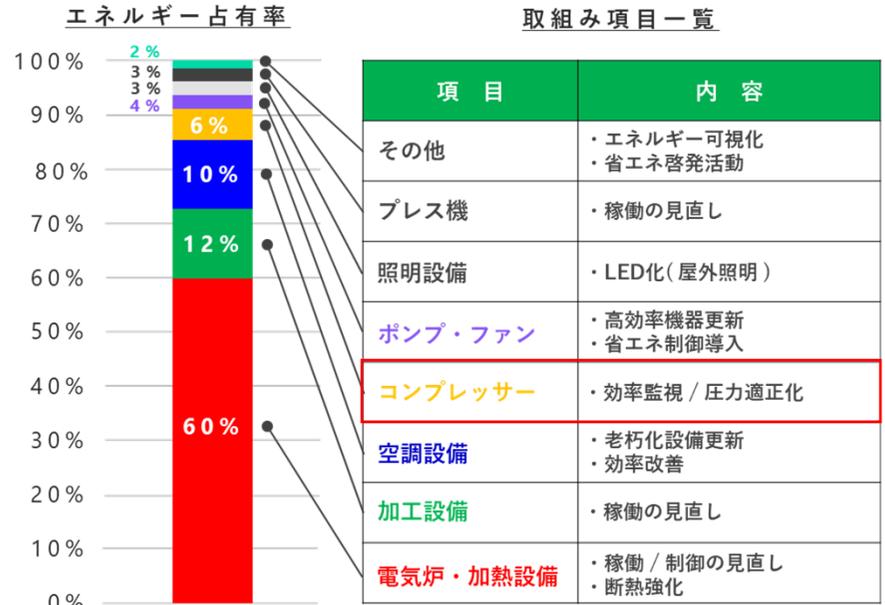
エネルギーマネジメントシステムの構築とMBを活用したエネルギーの可視化

- 使用エネルギーの現状把握
- エネルギーロスの抽出・要因診断
- 省エネ対策の効果検証



- ⚙️ 業務自動化による時間削減
- 💡 データ活用による電力削減

① 項目別のエネルギー使用量を把握し、それぞれの対策内容を検討



② それぞれの項目に対して有効な対策を立案 / 実行

ex) エアの末端圧力を確保するために高めに圧力設定をしていた

